

JP2003030350

Publication Title:

WEDDING RECEPTION MANAGING METHOD AND MANAGEMENT SYSTEM

Abstract:

Abstract of JP 2003030350

(A) PROBLEM TO BE SOLVED: To easily perform notification to attendants at a wedding ceremony and a wedding reception and friends who cannot attend, confirm whether they attend, and receive celebratory money. SOLUTION: A wedding ceremony and reception managing method is equipped with; a wedding database server which manages the attendants at the wedding ceremony and reception; an invited guest information receiving procedure which receives information on the names, addresses, mail addresses, etc., of invited guests; an invitation card sending procedure for sending invitation cards to the invited guests; an attendance reception procedure for receiving whether the invited guests attend at the wedding ceremony and reception, and a totaling management procedure for totaling and managing attendance/nonattendance information on the invited guests.

Courtesy of <http://v3.espacenet.com>

| | | | |
|----------------------------|-------|---------------|----------|
| (51) Int. Cl. ⁷ | 識別符号 | F 1 | 「ロー」(参考) |
| G 0 6 F 17/60 | 1 3 6 | C 0 6 F 17/60 | 1 3 6 |

審査請求 有 請求項の数 6 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特開2001-229467(P2001-229467)

(22) 出願日 平成13年7月19日 (2001.7.19)

(71) 出願人 301029399

株式会社アイティージェム

東京都豊島区池袋1丁目1番1号

(72) 発明者

中尾 勝幸

東京都新宿区新宿1丁目36番1号 株式会社アイティージェム内

(54) 【発明の名称】 結婚披露宴管理方法及び管理システム

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】結婚式及び結婚披露宴を挙げるにあたり、招待状を送付する作業及び出欠を確認する作業は、全て手作業であった。また、招待客が交通手段・宿泊施設・貸衣装などを自ら調査し予約することも手間がかかり不親切であった。更に、式場の受付においては芳名帳記入・祝儀金授受等の作業が面倒であり、多額の金銭の取り扱いにも注意を払わねばならなかった。また、婚礼欠席者が祝儀金やお祝いメッセージを送ることも手間がかかり面倒であった。

【解決方法】結婚式及び結婚披露宴において、出産者の管理をする婚礼データベースサーバと、招待客の氏名・住所・メールアドレスなどの情報を受付けする招待客情報受付手続と、招待客へ招待状を発送する招待状発送手続と、結婚式及び結婚披露宴への出席の有無を受付ける出欠受付手続と、招待客の出欠情報を集計及び管理する集計管理手続と、を備えていることを特徴とする結婚式披露宴管理方法。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 結婚式及び結婚披露宴における出席者の管理をする婚礼データベースサーバを用いた結婚披露宴管理方法であって、前記結婚データベースサーバは、結婚式及び結婚披露宴招待客の氏名・住所・メールアドレスなどの招待客情報を受け付ける招待客情報受付手段と、前記招待客情報受付手段により入力された招待客へ招待状を発送する招待状発送手段と、前記招待状発送手段により招待された招待客から、結婚式及び結婚披露宴への出席の有無を受け付ける出席受付手段と、前記出席受付手段より受け付けた招待客の出席情報を集計及び管理する集計管理手段と、を備えていることを特徴とする結婚披露宴管理方法。

【請求項2】 請求項1記載の結婚披露宴管理方法において、前記出席受付手段は、結婚する新郎新婦への祝儀金を受け取る祝儀金受付手段を含むことを特徴とする結婚披露宴管理方法。

【請求項3】 請求項1又は2記載の結婚披露宴管理方法において、前記結婚データベースサーバは、新郎新婦紹介情報・宿泊施設情報・交通手段情報などを保存蓄積する手段を有し、なおかつ、新郎新婦へのお祝いメッセージ・宿泊予約・交通予約などの受付手段を備えていることを特徴とする結婚披露宴管理方法。

【請求項4】 請求項1から3記載の結婚式及び結婚披露宴における出席者の管理をする婚礼データベースサーバを用いた結婚披露宴管理方法であって、前記結婚データベースサーバは、更に結婚式及び結婚披露宴の当日に、前記集計管理手段による招待客の情報を基に婚礼出席の受付を行う婚礼受付手段と、前記婚礼受付手段により受け付けた出席者の名簿を作成する婚礼受付名簿作成手段と、を備えていることを特徴とする結婚披露宴管理方法。

【請求項5】 結婚式及び結婚披露宴における出席者の管理をする婚礼データベースサーバを用いた結婚披露宴管理システムであって、前記結婚データベースサーバは、結婚式及び結婚披露宴招待客の氏名・住所・メールアドレスなどの招待客情報を受け付ける招待客情報受付手段と、前記招待客情報入力手段により入力された招待客へ招待状を発送する招待状発送手段と、前記招待状発送手段により招待された招待客から、結婚式及び結婚披露宴への出席の有無を受け付ける出席受付手段と、前記出席受付手段より受け付けた招待客の出席情報を集計及び管理する集計管理手段と、を備え、また、前記出席受付手段は、結婚する新郎新婦への祝儀金を受け取る祝儀金受付手段を含み、更に、前記結婚データベースサーバは、新郎新婦紹介情報・宿泊施設情報・交通手段情報などを保存蓄積する手段を有し、なおかつ、新郎新婦へのお祝いメッセージ・宿泊予約・交通予約などの受付手段を備えていることを特徴とする結婚披露宴管理システム。

【請求項6】 請求項5記載の結婚式及び結婚披露宴にお

ける出席者の管理をする婚礼データベースサーバを用いた結婚披露宴管理システムであって、前記結婚データベースサーバは、更に結婚式及び結婚披露宴の当日に、前記集計管理手段による招待客の情報を基に婚礼出席の受付を行う婚礼受付手段と、前記婚礼受付手段により受け付けた出席者の名簿を作成する婚礼受付名簿作成手段と、を備えていることを特徴とする結婚披露宴管理システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明が属する技術分野】 本発明は、結婚式及び結婚披露宴管理方法及び管理システムに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来の結婚式及び結婚披露宴は、事前に結婚当事者である新郎新婦が、招待客に対して結婚式及び結婚披露宴の招待状を手渡し又は郵送していた。そして、招待状を受け取った招待客においては、出席を希望した返信用書きを手渡し又は郵送することで返答していた。また、結婚式及び結婚披露宴には招待しない知人や友人に対しては、結婚する前又は後に結婚報告状を手渡し又は郵送し、又は電話などで結婚の報告をしていた。

【0003】 また、結婚式及び結婚披露宴に出席する招待客の中で、交通手段及び宿泊施設の手配及び貸衣装の手続きなどが必要招待客は、事前に交通手段・宿泊施設・貸衣装などの情報を各自で調べ手配を行っていた。

【0004】 その他、結婚式及び結婚披露宴の当日の受付は、予め知人・友人などに依頼した受付担当者が、会場に設けた受付で招待客の出席の確認を行い、招待客は住所・氏名等を芳名帳に記入し、更に併せて祝儀金の授受も行っていた。尚、結婚式及び結婚披露宴に加わらない知人・友人などの関係者においては、祝儀金だけを送付する者や祝電を郵送する者も多かった。

【0005】

【発明の解決しようとする課題】 しかしながら、結婚式及び結婚披露宴の招待客や結婚を報告する知人・友人に対し、招待状又は結婚報告状を手渡し又は郵送する作業や、結婚式及び結婚披露宴の出席を確認する作業は、全て手作業で行われるために費やす労力と時間は多大且つ面倒であった。

【0006】 また、結婚式及び結婚披露宴に出席する招待客が、交通手段・宿泊施設・貸衣装などを自ら調査し手配をするということにおいても、多大な労力と時間を費やすことになり不親切であった。

【0007】 更に、結婚式及び結婚披露宴の当日においても、受付で各自出席者の住所・氏名等を芳名帳に記入し祝儀金の授受を行う一連の受付作業は、膨大な時間と時間を要することに際り、且つ、多額の現金を扱うにあたり盗難・紛失などの問題も数多く抱えている。また、出席者においても、祝儀金の忘れや祝儀袋のへ

封入されたと招くおそれもあり、これは、概かな寄附金を重んじる結核式の中で礼を失うことになる。

【0008】またこの他、結核式及び結婚披露宴の当日に出席できない関係者において、祝儀金の受付やお祝いメッセージの受付などの手段は用意されおらず、各々の別居の差により（電報・郵便など）遅延をしておらず不便であった。本発明は、かかる従来例の有する不都合を改定し、結核式及び結婚披露宴の出席者及び出席できない個人友人に対する通知・出欠の確認、祝儀金の受付などを能順に行うことを目的とする。

【0009】【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本発明は、結核式及び結婚披露宴における出席者の管理をする婚礼データベースサーバを用いた結核式管理方法であって、前記婚礼データベースサーバは、結核式及び結婚披露宴招待客の氏名・住所・メールアドレスなどの招待客情報を受け付ける招待客情報受付手段と、前記招待客情報受付手段より入力された招待客へ招待状を発送する招待状発送手段と、前記招待状発送手段により招待された招待客から、結核式及び結婚披露宴への出席の有無を受け付ける出欠受付手段と、前記出欠受付手段より受け付けた招待客の出欠情報を集計及び管理する集計管理手段と、を備えることを特徴とする。

【0010】また、前記出欠受付手段は、結婚する新郎新婦への祝儀金を受け付ける祝儀金受付手段を含むこととする。

【0011】更に、前記婚礼データベースサーバは、新郎新婦紹介情報、宿泊施設情報、交通手段情報などを保存蓄積する手段を有し、なおかつ、新郎新婦へのお祝いメッセージ・宿泊予約・交通予約などの受付手段を備えることとする。

【0012】更に、結核式及び結婚披露宴の当日に、前記集計管理手段による招待客の情報を基に婚礼出席の受付を行う婚礼受付手段と、前記婚礼受付手段より受け付けた出席者の名簿を作成する婚礼受付名簿作成手段と、を備えることを特徴とする。

【0013】また、結核式及び結婚披露宴における出席者の管理をする婚礼データベースサーバを用いた結婚披露宴管理システムであって、前記婚礼データベースサーバは、結核式及び結婚披露宴招待客の氏名・住所・メールアドレスなどの招待客情報を受け付ける招待客情報受付手段と、前記招待客情報入力手段より入力された招待客へ招待状を発送する招待状発送手段と、前記招待状発送手段により招待された招待客から、結核式及び結婚披露宴への出席の有無を受け付ける出欠受付手段と、前記出欠受付手段より受け付けた招待客の出欠情報を集計及び管理する集計管理手段とを備え、また、前記出欠受付手段は、結婚する新郎新婦への祝儀金を受け付ける祝儀金受付手段を含み、更に、前記婚礼データベースサーバは、新郎新婦紹介情報、宿泊施設情報、交通手段情報などを

保存蓄積する手段を有し、なおかつ、新郎新婦へのお祝いメッセージ・宿泊予約・交通予約などの受付手段を備えることを特徴とする。

【0014】更に、結核式及び結婚披露宴の当日に、前記集計管理手段による招待客の情報を基に婚礼出席の受付を行う婚礼受付手段と、前記婚礼受付手段より受け付けた出席者の名簿を作成する婚礼受付名簿作成手段と、を備えることとする。

【0015】【作用】以上の本発明の結核式披露宴管理方法及び管理システムによると、婚礼データベースサーバに結核式及び結婚披露宴の招待客データ・結核式及び披露宴を通知する知人・友人データ登録することで、通知作業を婚礼データベースサーバより自動的に扱い、更に、出欠の確認や婚礼当日の婚礼会場における受付まで、全て管理できるものである。

【0016】また、同じく婚礼データベースサーバの結核式及び結婚披露宴の招待客データ・結婚報告を通知する知人友人データにより、祝儀金受け付けを行うことで祝儀金の集計・管理が容易に可能で、広範や損失などの問題も防止できる。

【0017】【発明の実施の形態】本発明に係る結核式披露宴管理方法及び管理システムの実施の態様を図面を参照して説明する。図1は本発明に係る結核式披露宴管理方法及び管理システムの一実施形態を示すブロック図である。

【0018】本実施形態に係る結核式披露宴管理方法及び管理システムは、結核式及び結婚披露宴を挙げる一組の新郎新婦10と、前記新郎新婦10の持つ情報端末装置10aと、結核式及び結婚披露宴に関する情報を受け付け及び情報提供するWebサイト20と、前記Webサイト20で受け付けた情報を集計管理するデータベースサーバ21と、前記新郎新婦10より結核式及び結婚披露宴へ招待された知人・友人等の招待客30-1〜30-nと、前記招待客30-1〜30-nの持つ情報端末装置30a-1〜30a-nと、婚礼当日の会場に設置された招待客の出席の受付を行う婚礼受付情報端末装置40と、から構成される。

【0019】前記情報端末装置10a、前記情報端末装置30a-1〜30a-n及び前記婚礼受付情報端末装置40は、インターネットに接続が可能な情報を送受信できるパソコン・携帯電話端末・モバイル端末等の情報端末装置である。尚、前記婚礼受付情報端末装置40は、婚礼当日において婚礼会場に設置され、前記Webサイト20上で招待客の出席を受け付け及びデータ入力するものである。

【0020】前記Webサイト20とは、一組の新郎新婦が結核式及び結婚披露宴を挙げるにあたり必要となる情報を管理・提供及び交換し、結核式及び結婚披露宴のための準備や作業をサイト上で操作指示することにより処理

するインターネットのホームページであり、式場を運営するホテルなどの業者により提供されフォーマットが決められたものである。前記Webサイト20のフォーマットは利用者が好みによって組替え及び変更ができてよい。

【0021】前記Webサイト20におけるホームページの主要コンテンツの構成例は次のようなものである。

- (1) 新郎新婦の紹介及び結婚を報告するページ
- (2) 招待客の登録及び招待状を発送指示するページ
- (3) 招待客へ交通手段や宿泊施設を案内及び予約受付するページ
- (4) 招待客から婚約への出欠・祝儀金・メッセージ等を受付けるページ

- (5) 婚約当日において招待客の出欠を管理するページ
- (6) 婚約出席者へのお礼状を作成及び発送指示するページ

- (7) 招待客への引き出物を紹介及び注文受け付けるページ

尚、コンテンツは利用者が自由に組替え及び変更ができてよい。

【0022】次に本実施例の結婚式披露宴管理方法及び管理システムにおける、結婚式披露宴当日までの一実施例の流れを図2～図5のフローチャートに沿って説明する。図2は、結婚式及び結婚披露宴を行なう予定の新郎新婦10が、招待客又は結婚する旨を知らせたい親族・友人・知人に対し招待状及び報告状を送付するまでのフローを表したものである。

【0023】まず、結婚が決まり結婚式及び結婚披露宴を挙げる予定の前記新郎新婦10は、準式するホテルが提供する、インターネット上で結婚の情報を管理・提供・交換及び作業指示、処理ができる結婚Webサイトサービスに登録の申込みをし、前記Webサイト20へアクセス(ステップ101)し、情報入力画面を表示する。

【0024】前記新郎新婦10は、前記情報入力画面に使い招待客30-1～30-n及び結婚する旨を知らせたい親族・友人・知人などの氏名・住所・メールアドレス・招待の有無のデータを入力(ステップ102)する。その際、前記各招待客30-1～30-n及び結婚する旨を知らせたい親族・友人・知人には管理IDが発行される。またその他にも、結婚式及び結婚披露宴の開催日時や前記新郎新婦10の紹介情報等も入力画面に使い登録しておく。

【0025】前記登録された各招待客30-1～30-n及び結婚する旨を知らせたい親族・友人・知人の氏名・住所・メールアドレス・管理IDの情報は、前記婚約データベース21にて登録・蓄積(ステップ103)される。

【0026】次に、前記Webサイト20にて入力し前記婚約データベース21にて登録・蓄積された前記各

データに基づき、メールアドレスの登録があるか否かの判断(ステップ104)により、メールアドレスの登録があるものは電子メールで招待状・報告状を発送(ステップ105)し、メールアドレスの登録がないものは郵送で招待状・報告状を発送(ステップ106)する。

尚、この招待状・報告状は、各招待客30-1～30-n及び結婚する旨を加えていた親族・友人・知人ごとの管理IDとWebサイト20へアクセスするためのURLアドレスが記載されているものである。

【0027】次に、図3は新郎新婦10より電子メールまたは郵送で前記招待状・報告状を受け取った後、記載されているURLアドレスへアクセスする場合のフローを表したものである。前記招待状・報告状を受け取ると、まず記載されたURLアドレスにたがって前記情報データベース30-a1～30-a-nを用いたWebサイト20に接続しアクセス(ステップ201)する。

【0028】そして表示画面に従い管理IDを入力する。前記管理IDは、招待客・結婚する旨を知らせたい親族・友人・知人ごとに異なるIDであり、前記招待状・報告状の記載に従い入力(ステップ202)する。更に、前記管理IDにより招待客であるか結婚を報告した人なのかを判別(ステップ203)され、それぞれの表示画面へ移る。

【0029】前記管理IDにより結婚を報告したい人が判別されると、Webサイト20の様々なコンテンツで新郎新婦の近況や横柄などの情報も得ることができ、更に、祝儀金やお祝いメッセージなども同サイト上で受付・登録(ステップ206)ができるものである。

【0030】また、前記管理IDにより招待客であると判別されると、結婚式及び結婚披露宴に出席できるかどうかの選択(ステップ204)をする。

【0031】前記選択において、結婚式及び結婚披露宴に出席できないとした招待客は、欠席の報告(ステップ205)をし、更に、新郎新婦への祝儀金及び、お祝いメッセージを贈りたい場合は、Webサイト20上で受付及び登録(ステップ206)をする。これは、お祝いのために改めて業者に祝電を依頼したり、新郎新婦へのお祝い品を自ら用意して配達手配する必要がなく、気軽に新郎新婦へお祝いの気持ち伝えることができる。これは、新郎新婦側から式に出席できない招待客への配慮にもなる。

【0032】一方、前記選択(ステップ204)において、結婚式及び結婚披露宴に出席するとした招待客は、出席の報告(ステップ207)をし、結婚式及び結婚披露宴に出席するにあたり必要な情報を前記Webサイト20上の各ページにより入手することもできる。更に、新郎新婦へ祝儀金及び、お祝いメッセージの受付及び登録(ステップ208)も可能である。

【0033】また、Webページ上から手配及び予約可能な情報として、

- (1) 式場までの交通手段
- (2) 式場に隣接する宿泊施設
- (3) 式に出席する際の着衣表

などが有り、このほかにも式場運営ホテルの各種サービスや新郎新婦が簡単に提供するサービスなど様々なものを予約・申込み(ステップ209)することができる。
 【00341】また、祝儀金の受付及び決済方法は、クレジットカード情報を入力するクレジット決済が考えられるが、その他の電子マネーなどの決済方法であっても良い。

【00351】次に、図4は結婚式及び披露宴当日の受付の流れをフローで表したものである。婚札当日において受付の準備をする際、まず式場受付に設置された前記情報端末装置40にて前記Webサイト20へアクセス(ステップ301)し、次に前記Webサイト20内の婚札参列者の受付ページを表示(ステップ302)させる。

【00361】式場受付にて招待客は、前記情報端末装置40に表示された前記婚札参列者受付ページにて、前記婚札データベースサーバ内の予の出席確認をとってある出席者のデータより、出席者氏名一覧を表示し、案内に従い招待客の出席を示す符号を行つ(ステップ303)。尚、前記出席を示す符号は、タッチパネルのボタン・ペン入力・キーボード入力などが考えられる。

【00371】また、招待客の氏名、住所等のデータは前記婚札データベースサーバにて蓄積・管理されているため、婚札当日はフォーマットに出席の確認だけで出席者の住所等のデータを自動的に呼び出すことができる。尚、招待客の受付は従来通り新郎新婦の知人・友人が行っても業者が捌け負っても良く、また無人であっても良い。

【00381】結婚式及び結婚披露宴の出席者の受付が全て終了(ステップ304)すると、参列者名簿の作成(ステップ305)を行い、同時に授受した祝儀金の集計も行う。作成された参列者名簿は、出席者の氏名、住所・メールアドレス、授受した祝儀金の額などが記載されてあり、出席者及び祝儀金の管理が容易に可能となる。尚、参列者名簿を作成するのは当日でも後日でも良い。

【00391】またその際、出席者の納めた祝儀金の金額に応じて引き出物パスワードを発行(ステップ306)する。そして、結婚式及び結婚披露宴が終了すると、新郎新婦は前記Webサイト20内のお札状を作成及び発送指示するページにてお札状の文面を入力し、前記出席者リストに基づきお札状を発送(ステップ307)する。その際、各お札状に前記引き出物パスワードが記載されており、再度Webサイト20にアクセスし、前記引き出物パスワードによる案内に従い引き出物の授受の手続きを完了する。

【00401】次に、図5は婚札参列者が引き出物を受付

取るまでのフローを表したものである。まず、新郎新婦よりお札状を受け取った婚札出席者は、前記Webサイト20へアクセス(ステップ401)し、前記Webサイト20内のお札状の受付及び注文受け付けするページにおいて、前記お札状に添付された引き出物パスワードを入力(ステップ402)する。

【00411】パスワードを入力すると、登録順の引き出物ページの中からそのパスワードに対応したページが表示され、前記婚札出席者はそこに示された複数の引き出物の中から好みの品物を選択し、ページの引き出物注文フォーマットにしたがって氏名や住所等を入力し、注文(ステップ403)する。尚、引き出物ページは祝儀金の額別別で用意されたり、出席者の年齢別で用意されたりするものである。

【00421】後日、婚札出席者は前記引き出物注文フォーマットにおいて指定した住所にて、配達業者によって配達された引き出物を受け取る(ステップ404)。

【00431】以上のように本実施例は、結婚する新郎新婦が、結婚式及び披露宴の招待客と結婚を告知したい知人・友人などの情報を登録するだけで、登録された情報により自動的に招待状又は報告状、更にはお札状の送付まででき、またその他にも、祝儀金やお祝いメッセージなどの送付も可能とした、管理方法及びシステムである。

【00441】次に、本実施例による実用効果の説明をする。まず、本実施例を利用する新郎新婦へのメリットは、

(1) 開設した前記Webサイト20上に情報を入力し、操作指示するだけで招待状・お札状の発送や出席者の管理、引き出物の処理等を自動的に行えるので粗雑い作業が簡便になり、時間を有効利用できるようになる。

(2) 前記Webサイト20を用い告知することにより、より多くの人に結婚を祝ってもらえるほか、より多くの情報を気軽に伝えられるとともに、知人・友人からの反応も即座に入手できるようになる。

【00451】(3) Webサイト上において祝儀金を受け付けることができたため、結婚式当日において多額の現金を扱う際の紛失や盗難などの心配がなくなり開放される。また祝儀金の集計や出席者別の金額管理なども容易にできるため、挙式したホテルなどへの支払いもスムーズにできるようになる。

(4) 婚札当日の受付に携わる人が不要になり、従来までの知人・友人などに依頼をする必要がなくなる。また、婚札参列者の名簿の作成なども容易に可能である。

【00461】次に本実施例を利用する招待客又は結婚報告した知人・友人へのメリットは、

(1) 前記Webサイト20が開設されることにより、結婚披露宴に関する様々な情報を気軽に入手でき、また婚札への欠出報告・祝儀金の贈呈・メッセージの送信及

び交通手段・宿泊施設・貸衣装等の予約等を一度に行えるので手間が省け便利である。

【0047】(2) 婚礼会場に祝儀金を持っていくのが良いので、祝儀金の持ち運びにおける紛失や盗難の心配がなくなり安全で快適な移動が可能になる。また、祝儀金の前払いである新郎の交際の手段も有効である。更に、祝儀金の忘れや祝儀袋の中への封入忘れなどのおそれなくなり、慌ただしい雰囲気を重んじる結婚式の中で札を失くすということもなくなる。

(3) 婚礼会場においての芳名帳などへの記載が不要となり、受付時の待ち時間が短縮される。

【0048】(4) 婚礼に出席できない知人・友人にとっては、前記Webページ20の確認により、気兼ねなく、また気軽にお祝いのメッセージや祝儀金を送ることができる。

(5) 更に婚礼出席者は引き出物を後日郵送にて受け取るため、婚礼当日において引き出物の大きな荷物を持って帰宅する必要がなくなる。

【0049】次に本実施例を利用するホテル・サービス会社へのメリットは、

(1) 前記Webサイト20を開発することにより、結婚式及び結婚披露宴における業務が簡素になるとともに、受付において祝儀金の受け渡しをしないので多額の祝儀金に関する盗難や紛失のおそれなくなり、セキュリティ対策に労を費やす必要もなくなる。

【0050】(2) 祝儀金を事前に集めることができるため、通常結婚式の開催当日若しくは後日に費用回収が行われていたものが、祝儀金を準式費用に充当することで準式前に費用を徴収することができる。

(3) 前記Webサイト20を開発することにより、ひとつのサイト上で貸衣装・交通会社・ホテル等の複数のサービス会社が参加することになるため企業間の相互利益が見込める。

【0051】

【発明の効果】以上の説明により本発明の結婚式披露宴管理方法及び管理システムは、結婚式及び結婚披露宴への招待状又は結婚届出状を送る作業や、結婚式及び結婚披露宴の出欠を確認する作業を、Webサイト上で入力

した招待客データを基に一括して行えるので手間を要しない。

【0052】また開設したWebサイト上には、招待客が結婚式及び結婚披露宴に出席するにあたり必要となる様々な情報がまとめて用意されているため、招待客が交通手段・宿泊施設・貸衣装などを自ら調査し予約する必要がなく、効率的に結婚式及び結婚披露宴へ出席してもらうことができ、非常に親切である。

【0053】更に結婚式及び結婚披露宴の当日においても、会場受付に設置された前記情報端末装置にて主催者の名前を入力するだけで、前記婚礼データベースサーバより各出席者の住所・メールアドレス等呼び出すことができる芳名帳が現れなくなる。また祝儀金の授受を直接行わないため、受付作業が簡略化され、且つ、多額の現金に対する盗難・紛失などのおそれもなくなる。また、出席者においても、祝儀金の忘れや祝儀袋の中への封入忘れなどのおそれなくなり、慌ただしい雰囲気を重んじる結婚式の中で札を失くすということもなくなる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る結婚式披露宴管理方法及び管理システムの一例の実施例を示す構成図である。

【図2】本発明の実施例における結婚の告知を示すフローチャートである。

【図3】本発明の実施例における招待客等の準式参加の出欠を報告するフローチャートである。

【図4】本発明の実施例における準式当日の受付の流れを示すフローチャートである。

【図5】本発明の実施例における引き出物を受け取るまでの流れを示すフローチャートである。

【符号の説明】

10・・・新郎新婦

10a・・・情報端末装置

20・・・Webサイト

21・・・婚礼データベースサーバ

30a-1〜30a-n・・・招待客

30a-1〜30a-n・・・情報端末装置

40・・・情報端末装置

【図1】



【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

